

2016-2017 シーズン活動レポート

滋賀スキー協
技術部 池田和文

1. 指導員状況

スキー指導員 30 名(上 3 中 7 初 20) ボード指導員 11 名 セッター1名 山リーダー4名(+2)

2. 活動状況

・2016/9/10-11	関西ブロック学習交流会	7 名
・2016/11/3	滋賀学習交流会（理論）	18 名
・2016/12/11-13	関西ブロック初滑り指導員研修養成会	8 名
・2017/1/28-29	滋賀スノー祭典 2017	15 名
・2017/2/18-19	滋賀研修会	7 名
・2017/3/31-4/2	関西ブロックレベルアップ	

3. 伝達内容

理論学習会

年々参加者が減少傾向に歯止めをするため、指導員年次登録費を 2000 円から 3000 円に引き上げ、その 1000 円分を学習会の会場費等に割り当て参加費を無料にしました。中級以上の方は、中央研修会だけであと活動しない人も目立ち、関西ブロック学習参加者は、1000 円還元するように県独自で改訂しました。また同時に指導員会議も実施し、初級、中級、上級も合わせ 18 名と多くの参加があった。

講習内容も受講するだけでなく会議形式して参加者が話せる内容にしました。技術では、野瀬デモから新教程の進捗報告から、参加者の意見が活発発言された。

雪上研修(教程)

滋賀スノー祭典で参加を求めたが、1 名のみ参加希望で中止しました。

宿泊が厳しい声もあり、安近短企画して、ゲレンデは小さく混在は予想されるが、1 時間圏内で行けるスキー場で企画したところ、7 名と多くの参加があり来年も継続して、ほしいとの声があった。

雪上研修(応用)

競技を体験してもらいたく、関西ブロック競技大会と滋賀のスノー祭典に当て、多くの参加者をつのり、一般も含め 15 名の参加があった、初参加も多く参加者の感想も好評であった。来期は、スノー祭典で山スキー体験を予定

4. 総括

シーズンテーマが昨年同様だったか、2 年連続の受講者は大きく飛躍されたと感じました、とくにスタート前の基本姿勢の確認が良いポジションにつながり、有効性を再確認、以外にスタート前の姿勢が悪い小回りになると、ポジションの遅れの傾向がありことを感じました。

足裏繰り替えは、意識しなと忘れてしまう、普段から身に付けることが必須と感じた。

全体的に、理解して頂けたと思います。

35 年以上、滋賀スキー協に外部から公式に指導員派遣要請があった、奈良県田原本町平野小学からの宿泊自然体験授業、スキー体験授業が最終となり、来年からカヌー体験となった、インフルエンザ等影響でドタキャンな理由、唯一の一般公式行事派遣を失った。

今後も継続して、休止中、未研修者が呼びかけ、未研修者を無くし、多くの指導員(会員)が新教程に興味をしてもらえる雰囲気、企画を実施したい。